

第 18 回日本死の臨床研究会

近畿支部大会 テーマ：「“死” って怖いですか」

第 18 回日本死の臨床研究会近畿支部大会

大会長：月山 淑 (和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケア部門)

E-mail : totoro@wakayama-med.ac.jp

塩路 有理 (同看護部)

■日 時 平成 24 年 2 月 19 日 (日) 10:00～16:30

■会 場 和歌山ビッグ愛 大ホール

〒640-8319 和歌山市手平 2 丁目 1-2 TEL (073)435-5200

<http://www.wakayamasposhin.or.jp/big-ai-access/index.html>

■参加費 会員 1,000 円 非会員 2,000 円

①昼食のご用意がありませんので、各自周辺施設でご用意下さい。

②懇親会費は別途必要となります。参加費ならびに懇親会費は、当日お支払い下さい。

○ I 部：座長 白浜はまゆう病院 副院長 伊藤浩二

【基調講演】(10:10 ～ 12:00) 「“死” って怖いですか？」

京都大学こころの未来研究センター教授兼京都大学大学院人間環境学研究科教授
カール・ベッカー

《休憩・総会》(12:00～13:30) 12:00～ 世話人会
13:00～ 近畿支部総会(会員)

○ II 部：座長 和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケア部門 部門長・准教授 月山 淑
同 緩和ケア病棟師長 塩路有理

【シンポジウム】(13:30 ～ 16:30) 「文化としての死、科学としての死」

- 1) 熊野より日本再生への祈り 熊野本宮大社 官司 九鬼家隆
- 2) 「葬儀形態の変遷」～ご遺族へのケア～ セレモ平安 総支配人 高田泰文
- 3) 看護教育において、死をどのように教育しているのか
神戸市看護大学 療養生活看護学領域 教授 鈴木志津枝
- 4) 医学における人の“死”とは？－死体を科学する法医学の立場から－
和歌山県立医科大学 法医学講座 教授 近藤稔和

○懇親会：17:00 すぎ～19:00 懇親会費 5,000 円

※懇親会出席ご希望の方は、2月3日(金)までに、①所属先 ②氏名 ③会員・非会員を、下記 FAX もしくは Eメールにて、お申込みください。

FAX：和歌山県立医科大学 腫瘍センター (073) 441-0567

メール：和歌山県立医科大学 がんプロフェSSIONAL養成センター canary@wakayama-med.ac.jp